

(基調講演)

A Iと共に可能性を開く時代 ～直感力と対話力の磨き方

The Era of Opening up New Possibilities Along with AI

-How to Cultivate your Intuition and Communication Skills-



黒川 伊保子

株式会社感性リサーチ

Ihoko Kurokawa

Kansei Research Inc.

略歴

【学歴】

1983 年 奈良女子
大学 理学部 物理
学科卒業

【職歴】

(株)富士通ソーシ
アルサイエンスラボラト
リにて、14 年に亘り人工
知能(AI)の研究
開発に従事した後、
コンサルタント会社勤
務、民間の研究所を
経て、2003 年 (株)
感性リサーチを設立、
代表取締役役に就任。

『妻のトリセツ』をは
じめとするトリセツシリ
ーズは累計で 100 万
部を超える。近著に
『対話のトリセツ』があ
る。

生成 AI の醍醐味はコンテンツの生成よりも、発想の展開にあります。ふと頭に浮かんだインスピレーションを基軸に対話を重ねていくと、思いもよぬ展開を見せて、その手があつたかと唸らせる力が、生成 AI にはある。つまり、コンテンツ生成のツールというより、「発想を押し広げてくれるパートナー」なのです。

この観点から言えば、むしろ研究開発者や技術者など、つい「この道一筋」になりやすい立場の方にこそ、しなやかな発想のパートナーとして愛用してもらいたい。ちなみに、孫正義氏は生成 AI を話し相手に、千の特許を思いついたとか。生成 AI と、気楽におしゃべりしていますか？実は、対人間の対話力を上げておかないと、生成 AI 相手に「インスピレーションの一言」が出てきません。2023 年、経済産業省が AI 人材育成の指針として対話力が不可欠であることを指摘しましたが、これは非常に的を射た指摘でした。

本講演では、脳にとって対話とは何かを解説し、対話力の鍛え方についてお話します。「ちょっとした、なんでもないこと」が素直に頭に浮かぶこと = 心理的安全性の確保が、時代を切り拓く鍵となります。

The real pleasure of generative AI is in the development of ideas rather than the generation of content. Generative AI has the power to bring about unexpected developments that you'd never thought.

From this perspective, I'd like people in positions such as researchers, developers and engineers, to use it as a flexible partner for ideas. By the way, Masayoshi Son came up with a thousand patents while talking to generative AI. Do you chat casually with generative AI?

In fact, if you don't improve your interpersonal conversation skills, you won't be able to come up with a "word of inspiration" for generative AI.

In this lecture, I will explain what dialogue means to the brain and talk about how to develop dialogue skills. Being able to think about "small, trivial things" honestly - ensuring psychological safety - is the key to paving the way for the new era.